

ご自由に
お持ち下さい

～日本における健康診断～



「健康診断」といっても、その役割は時代ごとに異なってきました。公衆衛生が整備されていない時代には、まず結核・赤痢・コレラなどの急性感染症の予防が重要でした。現在、私たちが直面している新型コロナウイルス感染と同じように、結核などの感染症を防ぐことは、当時の人々にとっても重要な課題だったようです。

公衆衛生環境の改善や各種対策によって、結核による死者数は大幅に減少されました。その後、日本人の死因の上位になってきたのが、脳血管疾患・がん（悪性新生物）・心臓疾患などです。

これらの病気は40～60歳の働き盛りに多い病気であることから、昭和30年代に当時の厚生省が、行政用語として「成人病」と呼ぶようになりました。しかしその後、これらの病気は40～60代に突然発症するのではなく、若い頃からの乱れた食生活や運動不足、喫煙、飲酒、ストレスなどの生活習慣を積み重ねた結果、発症することが多いことが明らかになり、「生活習慣病」と呼ばれるようになったのです。

2008年4月より、40歳から74歳までの人を対象にメタボリックシンドロームに着目した「特定健康診査」が、生活習慣病の予防を目的として行われるようになり、それに加えて病気に罹患しないよう生活習慣の変容を図る特定保健指導も併せて行われるようになりました。日本では労働安全衛生法や健康増進法という法律によって、健康診断の受診が義務付けられていますが、欧米にはこうした制度はなく、世界的にみても非常に珍しい制度とされています。総称される病名が時代とともに変化しても、「早期発見・早期治療」の大切さは変わりません。

新型コロナウイルス感染を恐れて健康診断を受診せず、がんに罹患して手遅れになる事のないよう、私たちティーエムクリニック職員一同は感染防止に努め、皆様の健康増進のお手伝いをさせていただきます。

健康管理事業部 部長 寺澤 浩行

特集

～専門外来のご紹介～

上部消化管(胃カメラ)について



医療法人クレモナ会

ティーエムクリニック

ティーエムクリニック

検索

特集

～専門外来のご紹介～

上部消化管検査(胃カメラ)について

上部消化管検査(胃カメラ)は、先端に小型カメラを内蔵した細長い管を口または鼻から挿入し、食道・胃・十二指腸を観察する検査です。逆流性食道炎、胃・十二指腸潰瘍など様々な疾患の診断ができますが、特に食道・胃の早期がんの発見に有用な検査です。当院で使用している経鼻カメラは直径が約6mmと細く、鼻の中を通り舌根部を刺激せずに食道に挿入できるため嘔吐反射が起きにくく比較的楽に検査が受けられます。

上部消化管検査(胃カメラ)担当医紹介

石井 賢一 先生



平成6年 東京医科歯科大学卒業
医療法人 クレモナ会
ティーエムクリニック院長
医学博士

帖地 憲太郎 先生



平成8年 防衛医科大学卒業
社会医療法人 熊谷総合病院所属
医学博士
日本消化器外科学会
日本外科学会

坂野 孝史 先生



平成12年 防衛医科大学卒業
医療法人 慈照会
むさしのメディカルクリニック所属
外科専門医
日本外科学会

その他にも経験豊富な医師・スタッフが携わっております。

本年度はすでに予約枠が残りわずかになっております。健診ご予約時にご相談いただくか実際に症状がある方は外来受診にて医師とのご相談をお勧め致します。

お問合せ 健診での受診希望【048-533-8837】 外来での受診希望【048-533-8836】

毎週土曜日の上部消化管検査(胃カメラ)医師変更のお知らせ



患者様への上部消化管内視鏡検査に関するメッセージ

胃がん治療のポイントは内視鏡による早期発見と早期治療です。当クリニックでは細い胃カメラが使われており、鼻からも口からも苦しくなく検査ができます。又、画質も良く、がんを見分けやすくする色彩強調機能もついており見逃しが少なくなります。ピロリ菌の検査と共に定期的に検診を受けられることをお勧めします。

浜田 節雄 先生

昭和48年東京医科歯科大学医学部卒業 埼玉医科大学医学部非常勤講師
医療法人顕正会蓮田病院総合診療科所属
日本消化器内視鏡学会関東支部例会前評議員・日本消化器内視鏡学会埼玉部会前理事

【指導医・専門医】日本消化器内視鏡学会/日本消化器病学会/日本消化管学会

【指導医】日本外科学会/日本消化器外科学会

【認定医】日本ヘリコバクター学会H.pylori(ピロリ菌)感染症

当院スタッフ紹介 その1

シリーズで当院スタッフを紹介

【院内業務部 次長】 内田 誠



【星座】 てんびん座

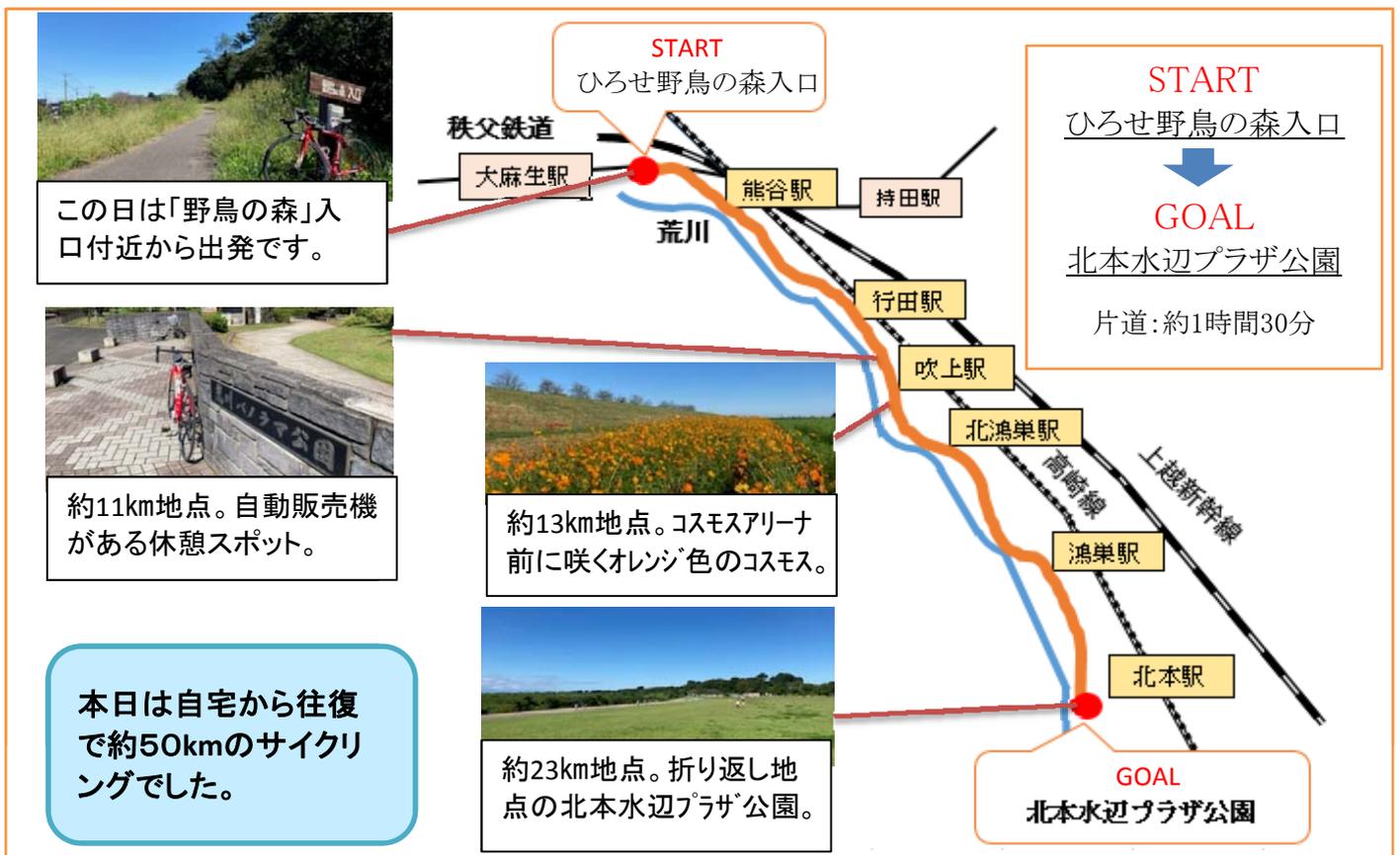
【血液型】 AB型

【趣味】 ロードバイク・テニス・ドライブ

【好きな食べ物】 お寿司・うなぎ

今年度の4月1日より健康管理事業部から院内事業部に異動になりました内田です。微力ながら地域の皆様のお役に立てますよう、スタッフ一同、良質で安心できる医療サービスを提供していきたいと思っておりますので、これからもよろしくお願い致します。

私は、当院が「健康経営優良法人2021」(グライト500)の認定をいただいた事がきっかけで、より具体的に自分自身の健康について考えるようになり、しばらく休んでいたサイクリングを再開しました。現在、このコロナ禍で運動やトレーニングを自粛されている方々も多いと思いますが、河川敷でのサイクリングは3密を避けながら実施できる最適な運動のひとつです。また、長時間運動を続ける「有酸素運動」であり、カロリー消費も大きいことから、脂肪燃焼によるダイエット効果や体力・持久力の向上、さらには糖尿病・肥満などの生活習慣病の予防にも役立つのでお勧めです。今回はスポーツの秋にお勧めのサイクリングロードをご紹介します。



旬の食材で栄養価UP!

子持ちシシャモの南蛮漬



作り方 1人分 180kcal 塩分 3.2g

1.シシャモは水気を除いてグリルで両面こんがり焼く。

2.玉ねぎは薄くスライスし、ピーマン・赤ピーマンはヘタ・種を除き幅5mmに切る。

3.フライパンにサラダ油を熱し、玉ねぎ・ピーマンを炒め、赤唐辛子を加える。

4.混ぜ合わせておいたAをひと煮立ちさせ火からおろしシシャモと3にかける。

材料(2人分)

- ししゃも 8尾
- 玉ねぎ 1/4個
- ピーマン 1個
- 赤ピーマン 1個
- サラダ油 適量
- A 酢 大さじ2と1/2
- A 水 大さじ1/2
- A 砂糖 大さじ1
- A 醤油 大さじ1
- A 赤唐辛子 輪切り4切れ

10月～12月が旬のシシャモは、お腹に卵が沢山ついていて1年のうち最も美味しい時期と言われていています。シシャモに含まれるEPAには、血栓を抑制し動脈硬化や心筋梗塞などの生活習慣病の予防に効果があります。また、骨ごと食べられるシシャモにはカルシウムが豊富に含まれており、お酢と一緒に摂ることで吸収力がupするので骨粗しょう症予防にも期待できます。寒くなると血管性の疾患のリスクが高くなるので、冬に備えておいしく食べて予防をしましょう。 当院管理栄養士 田原

外来診療のご案内

| | 月 | 火 | 水 | 木 | 金 | 土 |
|---------------|---|---|---|---|---|---|
| 内科外来 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ |
| 禁煙外来 (準備中) | / | / | / | / | / | / |
| 内分泌 代謝外来 | / | ○ | / | / | / | / |
| 乳腺外科外来 | / | ○ | ○ | ○ | ○ | / |

内分泌代謝外来では、日本医科大学名誉教授 芝崎 保先生を招聘し、主に甲状腺・脳下垂体・副甲状腺・副腎等のホルモンの病気や糖尿病の診療を行っております。このような症状でお悩みの方は、内分泌代謝外来の受診をおすすめいたします。

健診センターのご案内

人間ドック及び各種健康診断

人間ドックをはじめ各種健康診断、労働安全衛生法に基づいた定期健診、生活習慣病健診等もおこなっております。また各種オプション検査も数多くご用意しております。お気軽にお問い合わせください。

診療時間のご案内

内科外来

平日 9:00～12:00 15:00～18:00
土曜 9:00～13:00

乳腺外科外来(予約制)

火曜 14:00～17:00
水曜 9:30～12:30 14:00～17:00
木曜 9:00～12:00 14:00～17:00
金曜 12:30～13:30

内分泌代謝外来(予約制)

火曜 8:30～12:30 14:30～17:00



外来診療 お問い合わせ

TEL 048-533-8836 FAX 048-533-8854

【受付時間】

平日 9:00～12:00 15:00～18:00
土曜 9:00～13:00

健康診断 お問い合わせ・ご予約

TEL 048-533-8837 FAX 048-533-8854

【受付時間】

月～金曜 8:30～17:00